

# 平成22年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日

施設名	大和市柳橋ふれあいプラザ
指定管理者	株式会社オーエンス横浜支店 支店長 堀江 数司
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日

## 1. 事業報告概要

### 【業務実施状況】

#### ・施設の運営

開館状況：毎週月曜日、月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、当該日の直後の休日でない日、大和市民まつりの日、年末年始(12月29日～1月3日)及び施設点検日を除く毎日。  
午前10時～午後9時まで開館。

東日本大震災のため、3月13日～3月31日まで臨時休館。

#### ・施設の受付

年間使用者数

総使用者数	66,165人
風呂使用者数	42,312人

#### ・使用者へのサービス

カッパ等干し台設置、各浴室窓にすだれ設置、展示コーナー上着掛け用移動ラック設置、耳マーク表示など

#### ・施設の改修、改善

檜風呂湯船内底板修理、身障者用トイレ床面フラッシュバルブ交換、駐車場渡り橋修理、展示コーナー天井内配管水漏れ及び天井修理、男女トイレ洗面台蛇口他交換、各浴室脱衣室ロッカーキー交換、身障者トイレ内装修理、浴槽ろ過設備修理、エレベーターホール扉補修など

#### ・自主事業

事業名	開催日時	参加者数
料理教室	4月25日(日)11時～15時	12人
	6月20日(日)15時～18時	8人
	9月26日(日)10時～15時	6人
	11月21日(日)10時～15時	14人
落語会	5月22日(土)15時～17時	57人
	10月17日(日)15時～17時	63人
クラフト教室	7月11日(日)10時～15時	5人
	2月27日(日)10時～15時	18人

事業名	開催日時	参加者数
映画会	7月25日(日)15時～17時	42人
	2月13日(日)15時～17時	38人
プラザ夏祭り	8月29日(日)13時～17時	158人
カラオケ発表会	12月4日(土)13時～17時	50人
嚙子獅子舞	1月15日(土)10時～18時	48人
将棋大会	1月16日(日)10時～16時	24人
囲碁大会	1月30日(日)10時～16時	14人

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・使用者総数は、平成21年度に比べ7,992人(約10.8%)減少しました。

3月の東日本大震災による臨時休館と会議室等使用者数の減少のためと思われます。第1集会室の4月から2月までの件数は230件であり、平成21年度の4月から2月までの222件より若干増加となりましたが、第1集会室の1件あたりの使用人数の減少と、第2集会室、会議室の利用率が伸び悩んだためです。

- ・風呂の使用者数は、平成21年度に比べ2,989人減少しました。

これは、3月11日に発生した東日本大震災の影響で3月13日から3月31日まで臨時休館したためと考えられます。また、1日あたりの平均使用者数は147人と平成21年度の149人とほぼ同等となりました。

収入においては、平成21年度に比べ、市内大人1,500人と市外大人21人が減少し、157,900円の減収となりました。

- ・会議室等の使用者は、平成21年度に比べ3,780人減少しました。

要因としては、東日本大震災の影響での臨時休館と、新規登録サークルが11件増加したものの、例年使用者数の多い団体である福祉関係、交通会社関係、市機関の使用者数が減少したためです。

収入においては、使用者減少のため平成21年度に比べ104,025円減収となりました。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収入		支出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	13,970,000	人件費 (指定管理者が雇用した社員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	11,220,240
その他 (自動販売機、マッサージ器利用による収入)	216,030	施設管理費等 (施設の清掃や、保守点検、修繕に支出した金額)	2,003,996
収入計(①)	14,186,030	支出計(②)	13,224,236

収支決算(①-②)	961,794
-----------	---------

【収支決算に関する補足説明】

- ・収入については、前年比較で 22,898 円減少しました。
- ・支出については、前年比較で 116,663 円増加しています。これは自主事業増加等のためです。
- ・東日本大震災により、平成23年3月13日から使用者の安全等を考慮し臨時休館としましたが、休館中も使用予定者との調整、問合せ対応、施設内の安全管理など、地震対応業務を行いました。

### 3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成23年6月29日に大和市環境審議会からの意見聴取を行いました。

#### 評価の視点1:施設を使用する者に対し、平等な使用の確保及びサービスの向上が図られたか

【大和市環境審議会の意見】

- ・頻繁に使用する方と、施設の存在さえ知らない方がいるのではないかと思います。公平性の観点からも、なるべく多くの方が使用することが望ましいと考えます。

【管理運営に対する評価（大和市施設課）】

- ・利用促進の PR として、ホームページを活用しておりますが、チラシの配布など、より多くの方にご使用いただくための取り組みが今後も必要と考えます。
- ・施設の使用許可事務については条例等に則り適切に行われました。
- ・指定管理者による使用者満足度調査の結果、全体の97.6%の使用者が満足・やや満足と高い評価をしており、適切なサービスが行われました。

#### 評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

【大和市環境審議会の意見】

- ・使用者の年齢構成が70代4割、60代4割、50代1割となっておりますが、若者も利用できるような施設という方向にも発展性があるのではないかと思います。

【管理運営に対する評価（大和市施設課）】

- ・調理実習室の使用率を上げる取り組みとして、「料理教室」を前年度の倍の4回開催しました。また、「クラフト教室」や、「福田獅子舞」を新規で開催し、新たな使用者層の開拓に取り組みました。
- ・「カラオケ発表会」「将棋大会」「囲碁大会」は前年度に続き参加希望者が定員を上回り、恒例行事として定着しています。
- ・施設の設置目的を踏まえ、今後も市民の健康、福祉に貢献するコミュニティ施設としての事業運営に期待します。

#### 評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか

【大和市環境審議会の意見】

- ・全体として所管課のもとで、指定管理者により適切に管理が行われています。

【管理運営に対する評価（大和市施設課）】

- ・施設の管理・保守点検等は仕様書に沿って適切に行われました。
- ・各浴室のヘルスメーターの交換やトイレのフラッシュバルブ交換等を行い、他の改修、改善についても施設課と協力して、適切な管理が行われました。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

【管理運営に対する評価（大和市施設課）】

- ・日赤救急法救急員などに認定された従業員を配置するとともに、研修等に参加するなど、事故や災害時に適切、迅速に対応できる体制に努めています。
- ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。また、指定管理者本社長経理部門の内部監査員による定期監査の実施など、適正な運用を行っています。